

工 事 番 号		部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者	
設計年度	令和 3 年度		三原東処理分区污水管新設工事（3-1工区） 公共下水道事業 三原市中之町二丁目				仕様書	
施工月日	令和 年 月 日							
施工方法	請 負							
工事期間								
工 事 概 要			起 工 理 由					
・ 路線延長（污水） L=60.3m 管体延長 管渠工（開削） φ 200 L=58.1m 0 0 0			污水 0 单独					

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市中之町二丁目 公共下水道事業 三原東処理分区污水管新設工事(3-1 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和3年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2014年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和3年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、雨水管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用地

- 1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，開削工事2（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱
位 置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 推進工法

受注者は、本工事における推進工法の選定が適切かどうかを照査すること。照査の結果、不適切と判断される場合は、双方協議のうえ、変更することを可能とする。

第11節 薬液注入

1 薬液注入

「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づき施工すること。

「薬液注入工事に係る施工管理等について」に基づき管理すること。

2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第12節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

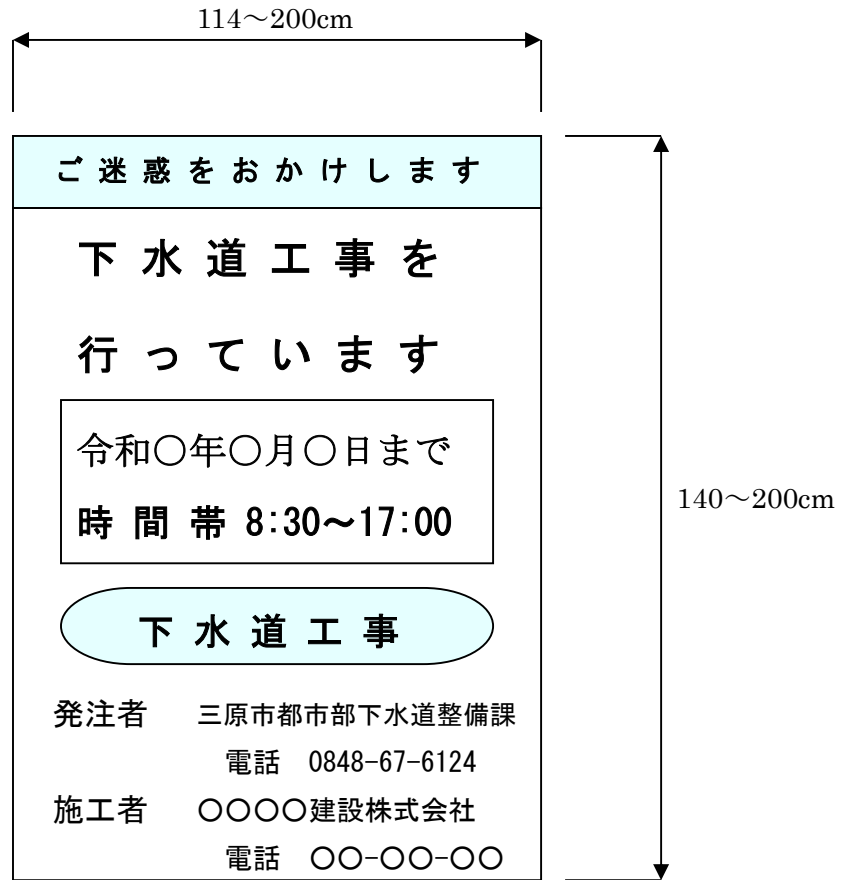
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

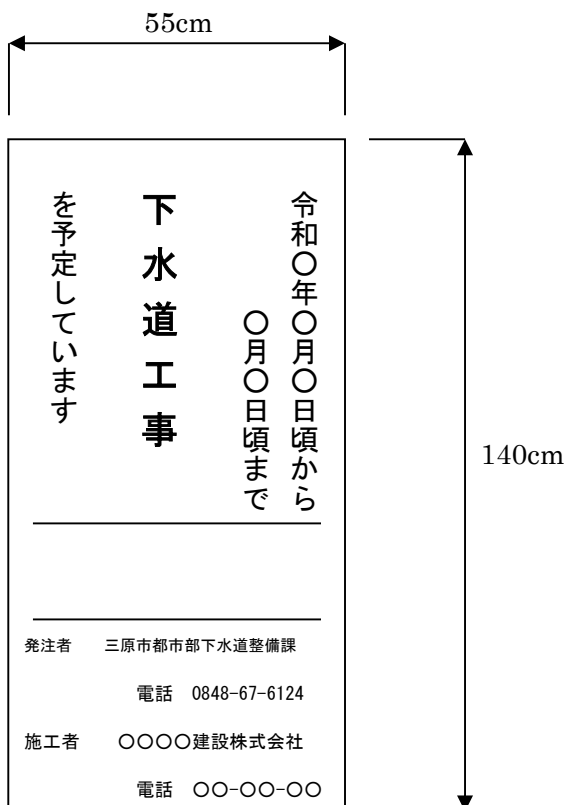
第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

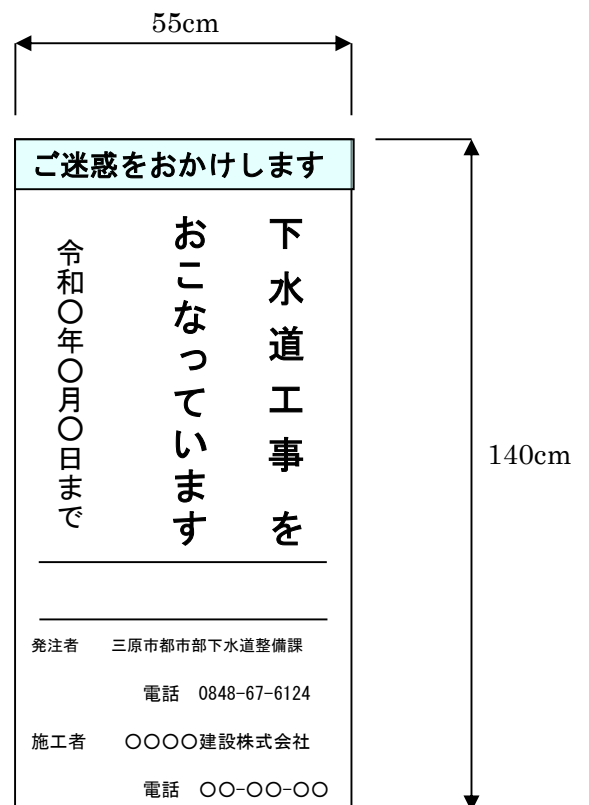
【工事標示板】



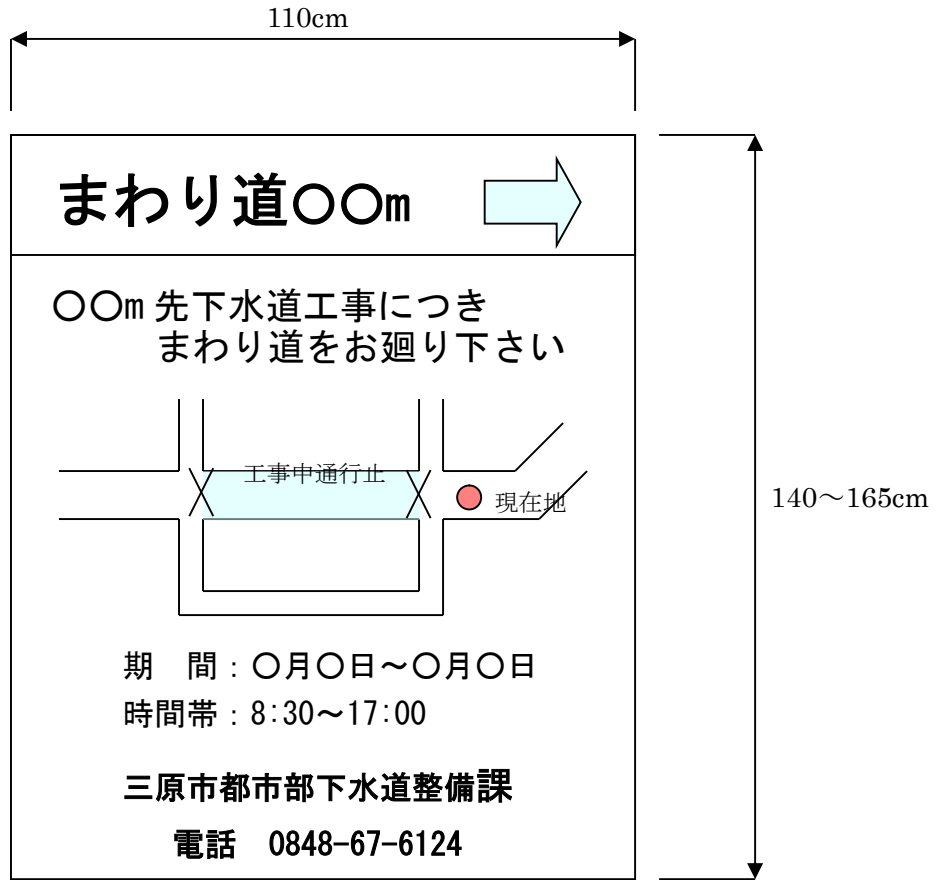
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)		式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【管規格】	m	58.1	レベル4
継手類		式	1	レベル4
埋設標識テープ		m	58.1	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	【砂材料】	m	58.1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立0号マンホール		箇所	1	レベル4
小型マンホール工		式	1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所	3	レベル4

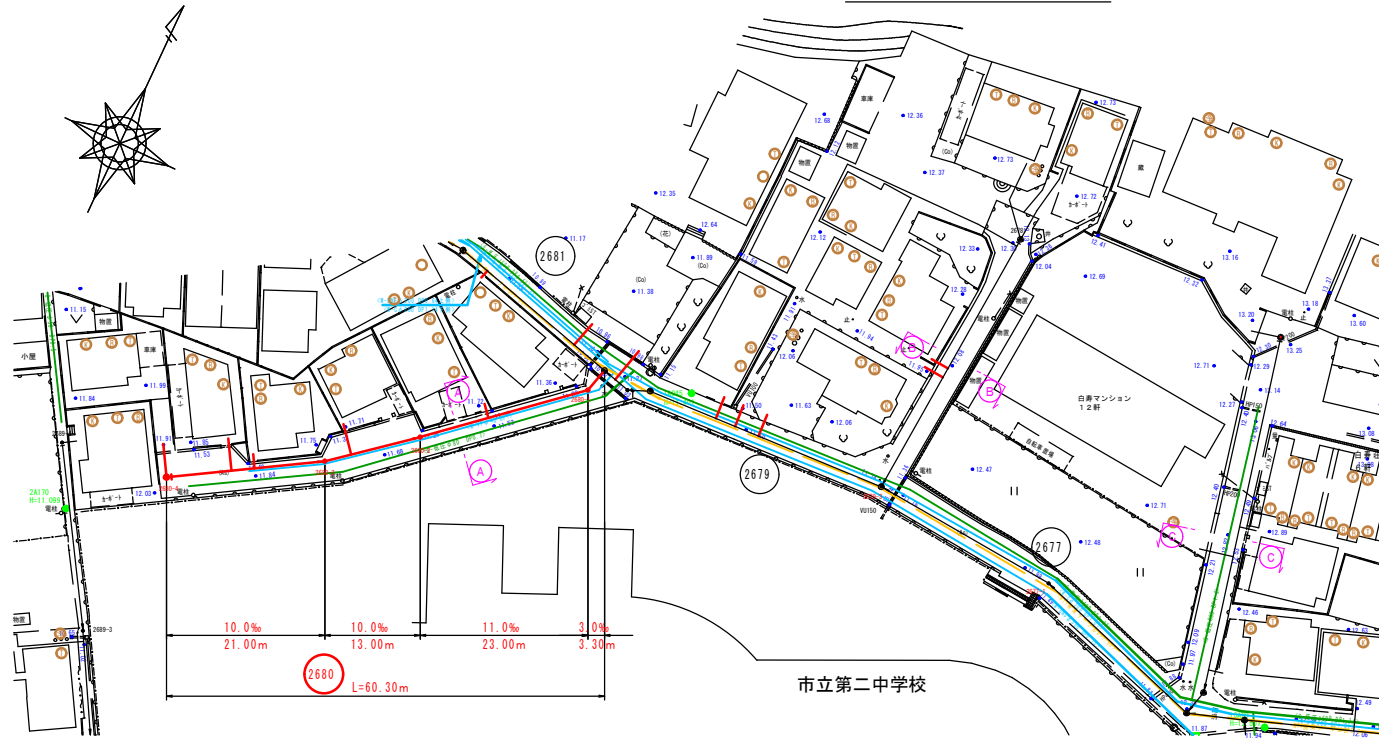
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
取付管およびます工		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
ます設置工		式	1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所	5	レベル4
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	120	レベル4
舗装版破碎		m ²	177	レベル4
殻運搬処理		m ³	10	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m ²	126	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m ²	52	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m ²	52	レベル4

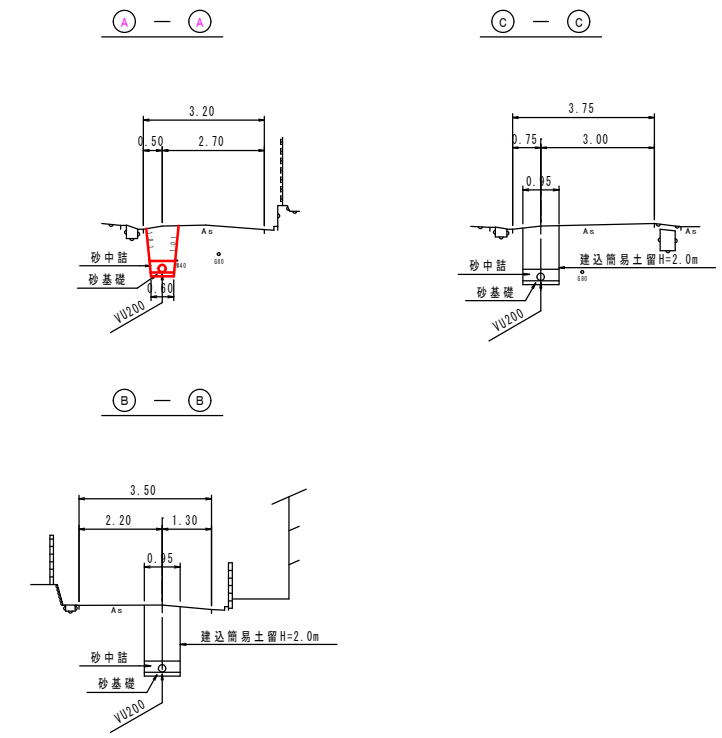
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
表層(車道・路肩部)		m2	177	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	51	レベル4
付帯工 取付管		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	21	レベル4
舗装版破碎		m2	8	レベル4
殻運搬処理		m3	0.2	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)		m2	8	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	8	レベル4
表層(車道・路肩部)	仮舗装工	m2	8	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
直接工事費				
技術管理費				

平面図 S=1:500



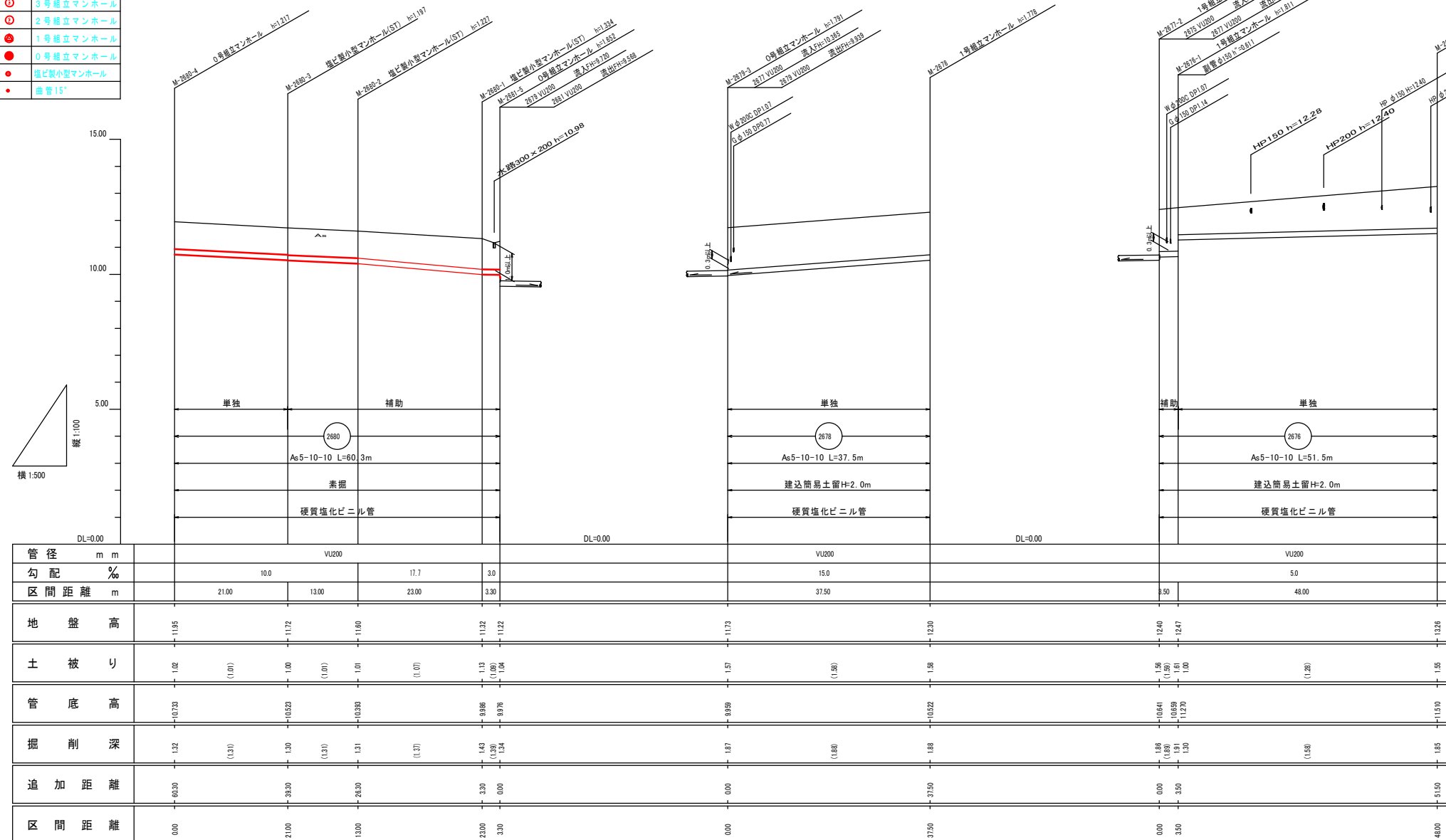
横断図 S=1:100



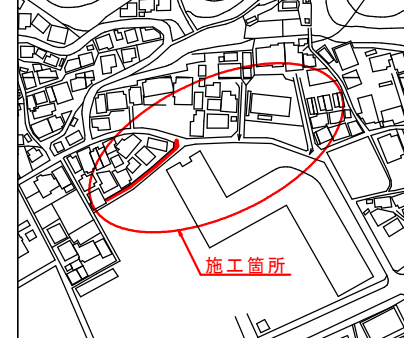
縦断図 縦S=1:100 横S=1:500

凡例

記号	名称
○	3号独立マンホール
○	2号独立マンホール
○	1号独立マンホール
○	0号独立マンホール
●	掘削小型マンホール
●	管径15"



施工位置図 S=1/2500



管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2676	M-2677-2~M-2676-1	VU200	3.50	閉削補助
2676	M-2676-1~M-2676-2	VU200	48.00	閉削単独
2678	M-2679-3~M-2678	VU200	37.50	閉削単独
2680	M-2681-5~M-2680-3	VU200	39.30	閉削補助
2680	M-2680-3~M-2680-4	VU200	21.00	閉削単独
計			149.30m	

※ マンホール蓋の設計荷重は、T-14とする。

平成3年度 公共下水道事業(污水)		
工事名	三原東処理分区分水新設工事(3-1工区)	
工事場所	三原市中之町二丁目	
図面番号	縮尺	図示
平面図・縦横断面図(その18)		
三原市		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.11.01(0)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻	60	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	1	式			SG1D0002003 00
機械投入埋戻工(バックホウ)	30	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ) 再生砂	10	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	20	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
建設発生土受入費 再資源化施設					F0001 00
	20	m3			山田建設
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【管規格】					Y1101010203レベル4
	58.1	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm					SG1D0006001 00
	58.1	m			単第0 -0008 表
継手類					Y1101010212レベル4
	1	式			
マンホール用可とう継手 VU 200					F0002 00
	1	組			物価資料

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本管自在継手 VU 200	1	個			F0003 00 物価資料
埋設標識テープ	58.1	m			Y1101010216レベル4
埋設標識シート 150×150 2倍	58.1	m			F0004 00 物価資料
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
砂基礎 【砂材料】	58.1	m			Y1101010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	4	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0009 表
再生砂	5	m3			T0249 00
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立0号マンホール					Y1101020201レベル4
	1	箇所			
組立0号マンホール 0号(内径750mm),楕円 深さ2m以下					SG1D0052002 00
	1	箇所			単第0 -0010 表
底部工(組立式)(組立0号マンホール)					SG1D0052001 00
	1	箇所			単第0 -0011 表
汚水用人孔鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式 600用 T-14)					F0005 00
	1	組			下水道単価
変形防止調整金具					F0006 00
	1	箇所			下水道単価
コンクリート混和剤 無収縮材 セメント系プレミックスタイプ					T2595 00
	13	kg			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	2	個			
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450					TH003036 00
	1	個			
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×600					TH003052 00
	1	個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形0号(内径750)1種 底版	1	個			TH003062 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	1	箇所			TH003130 00
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	3	箇所			Y1101020301 レベル4
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 中間形式 30L 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	1	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0015 表
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 中間形式 15L 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	1	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0016 表
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 中間形式 ST 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	1	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0017 表
小口径鉄蓋 (デザイン入・密閉ロック式) 300用 T-14	3	組			F0007 00 下水道単価
沈下防止盤 (再生プラスチック) 300用 T-14	3	組			F0008 00 下水道単価

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
沈下防止盤(コンクリート) 300用 T-14	3	組			F0009 00
取付管およびます工	1	式			Y110104 レベル2
管路土工	1	式			Y11010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101040101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	1	式			SG1D0001002 00
管路埋戻	8	m3			単第0 -0001 表 Y1101040102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	1	式			SG1D0002003 00
機械投入埋戻工(バックホウ)	6	m3			単第0 -0003 表 SG1D0002003 00
発生土処理	2	m3			単第0 -0018 表 Y1101040103 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	2	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
建設発生土受入費 再資源化施設					F0001 00
	2	m3			山田建設
ます設置工					Y11010402 レベル3
	1	式			
ます(塩化ビニル製)					Y1101040202レベル4
	5	箇所			
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm					SG1D0088004 00
	5	箇所			単第0 -0019 表
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)					SG1D0088005 00
	2	箇所			単第0 -0020 表
鋳鉄製防護蓋 200 T-8					F0011 00
	2	組			
取付管布設工					Y11010403 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管(硬質塩化ビニル管)					Y1101040302レベル4
	1	式			
取付管布設および支管取付工 管径 150mm					SG1D0089002 00
	5	箇所			単第0 -0021 表
付帯工					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			
舗装版切断					Y1101060101レベル4
	120	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK21040302 00
	120	m			単第0 -0022 表
舗装版破碎					Y1101060102レベル4
	177	m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下					SPK21040301 00
	177	m2			単第0 -0023 表
舗装版破碎 本管 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下					SPK21040301 00
	52	m2			単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬処理	10	m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	10	m3			SPK21040138 00 単第0 -0025 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	23	t			F0010 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3
不陸整正	126	m2			Y1101060301レベル4
不陸整正 補足材料無し	126	m2			SPK21040224 00 単第0 -0026 表
下層路盤(車道・路肩部)	52	m2			Y1101060302レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	52	m2			SPK21040225 00 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部)					Y1101060304 レベル4
	52	m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工					SPK21040227 00
	52	m2			単第0 -0028 表
表層(車道・路肩部)					Y1101060308 レベル4
	177	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK21040234 00
	177	m2			単第0 -0029 表
舗装仮復旧工					Y11010604 レベル3
	1	式			
表層(車道・路肩部)					Y1101060408 レベル4
	51	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm					SPK21040234 00
	51	m2			単第0 -0030 表
付帯工 取付管					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断	21	m			Y1101060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	21	m			SPK21040302 00 単第0 -0022 表
舗装版破碎	8	m2			Y1101060102レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	8	m2			SPK21040301 00 単第0 -0023 表
殻運搬処理	0.2	m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.2	m3			SPK21040138 00 単第0 -0025 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	0.05	t			F0010 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(車道・路肩部)	8	m2			Y1101060302 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	8	m2			SPK21040225 00 単第0 -0027 表
上層路盤(車道・路肩部)	8	m2			Y1101060304 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	8	m2			SPK21040227 00 単第0 -0028 表
表層(車道・路肩部) 仮舗装工	8	m2			Y1101060308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	8	m2			SPK21040234 00 単第0 -0031 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	1	式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	7	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
管内調査費					YZZ06001001 レベル4
	1	式			
テレビカメラ管路調査工 洗浄・メディア録画・報告書作成含む					V0001 00
	57	m			日本下水道協会 単第0 -0032 表
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0019

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンパ締固め

SPK21040020

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.37% 労務構成比: 97.25% 材料構成比: 1.38% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,422.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.37%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.38%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)
再生砂

SG1D0002003

単第0 -0005 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)

SG1E0003002

単第0 -0006 表

頁0 -0022

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 011_オンロード ディーゼル 4t積級	0.60	日			1 単第0-0007 表
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.28m3 C=2 [有]DID区間 E=1 路面状況:良好			B=1 4t積級 D=9 4.5以下		

施工単価表

底部工(組立式)(組立0号マンホール)

SG1D0052001

単第0 -0011 表

頁0 -0027

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシャー 40~0mm	0.168	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.120	m3			単第0-0012 表
モルタル上塗工(配合1:2)(マンホール用)	0.550	m2			単第0-0013 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 RC-40 D=0.2 砕石厚(m) F=0.12 インポートコンクリート工使用数量(m3)			C=0.7 砕石面積(m2) E=1 - G=1 無筋・鉄筋構造物		
H=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 L=2 一般養生 Q=2 モルタル上塗工			I=2 18-8-40BB P=1 - R=0.55 モルタル上塗工使用数量(m2)		
S=2 普通					

1 箇所 当り

施工単価表

頁0 -0028

コンクリート

SPK21040140

単第0 -0012 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.53%

労務構成比:

37.78%

材料構成比: 57.69%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,266.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.28%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.31%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.93%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.69%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

モルタル練

SPK21040141

単第0 -0014 表

普通

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

62.07%

材料構成比: 37.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,040.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	28.13%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.80%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

施工単価表

小型マンホール工 (塩化ビニル製)

SG1D0057001

単第0 -0015 表

マンホール径300mm 中間形式 30L

深さ2m以下 本管径150mm~200mm

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール工(塩化ビニル製)【材工共】 マンホール径300mm 深さ2m以下,本管径150mmおよび200mm	1	箇所			
加算額【手間のみ】 鋳鉄製防護蓋設置費	1	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 起点および中間形式 C=1 [規]5箇所以上 E=1 -			B=1 深さ2m以下 D=1 - F=1 -	深さ2m以下 本管径150mm~200mm	
G=2 鋳鉄製防護蓋を設置する場合					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0018 表

頁0 -0035

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

頁0 -0039

舗装版切断

SPK21040302

単第0 -0022 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.24%

労務構成比:

54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

562.41000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK21040301

単第0 -0023 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.68%

労務構成比:

82.20%

材料構成比:

8.12%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

167.88000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.68%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	28.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

舗装版破碎 本管
アスファルト舗装版

SPK21040301

単第0 -0024 表

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.68% 労務構成比:

82.20%

材料構成比: 8.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

167.88000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.68%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	28.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 47.38% 労務構成比: 37.64%

SPK21040138

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)

材料構成比: 14.98%

単第0 -0025 表

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
2,638.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.64%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.98%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=26 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

不陸整正
補足材料無し

SPK21040224

単第0 -0026 表

1

m2 当り

機械構成比: 25.67% 労務構成比: 67.46%

材料構成比: 6.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

112.53000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.66%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.81%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.20%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.87%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK21040225

単第0 -0027 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.23% 労務構成比:

15.52%

材料構成比: 79.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,077.40000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.53%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK21040225

単第0 -0027 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.23% 労務構成比:

15.52%

材料構成比: 79.25%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,077.40000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 40~0mm	77.85%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.15%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0048

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0028 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比:

30.75% 材料構成比: 58.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

543.99000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.20%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.25%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.06%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0028 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38%

労務構成比:

30.75%

材料構成比:

58.87%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

543.99000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	56.09%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.28%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0050

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0029 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.58% 労務構成比: 10.02%

材料構成比: 88.40%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,527.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.02%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0029 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.58%

労務構成比:

10.02%

材料構成比:

88.40%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,527.80000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.30%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.48%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0052

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

44.36%

材料構成比: 55.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,232.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.32%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.17%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	54.94%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比: 44.36%

材料構成比: 55.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,232.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0054

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0031 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

44.56%

材料構成比: 54.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,452.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.29%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.02%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	50.06%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0031 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

44.56%

材料構成比: 54.93%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,452.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

報告書作成

V0004

単第0 -0038 表

頁0 -0062

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業)	1	人			
測量技師 (外業)	1	人			
測量技師補 (外業)	1	人			
記録メディア	1	枚			
写真代 デジタルカメラデータカラープリント サービス版	1	式			
雑材料	10	%			#01
*** 単位当たり ***	1	m			

数 量 計 算 書

中之町（三原東処理分区）

塩ビ管管布設工集計表

(18)工区 補・(単)

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
管路土工	管路掘削 人力							m ³	
	管路埋戻(発生土) 人力							m ³	
	管路埋戻(砂) 人力							m ³	
	発生土処理 人力 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.13 m ³							m ³	
	発生土処理 BH 0.13 m ³ 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.28 m ³	56.7					56.7	m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m ³	30.5					30.5	m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m ³	9.8					9.8	m ³	
	発生土処理 BH 0.28 m ³ 4 t車	22.8					22.8	m ³	
	管路掘削 BH 0.45 m ³							m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m ³							m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m ³							m ³	
	発生土処理 BH 0.45 m ³ 10 t車							m ³	
管基礎工	砂基礎	3.5					3.5	m ³	
	砂基礎延長	58.1					58.09	m	
管布設工	路線延長	60.30					60.30	m	
	管体延長	58.09					58.09	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m	13					13	本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	2					2	本	
	可とう継手 φ 200 mm	1					1	個	
	自在継手 φ 200 mm	1					1	個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個		

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り

(18)工区 補(単)

管径 φ = 200 mm

現況表層厚 = 0.05 m

道路幅員 = m

復旧表層厚 = 0.05 m

現況路盤厚 = 0.10 m (上下路盤)

掘削幅 = 0.60 m

復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	ブレンエンド直管 (PE) m	可とう継手 個	自在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量									
					人力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³						
2680	2681-5	3.30	0.20	1.34					2.81		2.81			0.73
	2680-1		0.29	1.39			3.2							
	2680-1	23.00	0.18	1.32					22.53	20.0	2.53			0.73
	2680-2		0.29	1.37			22.2							
	2680-2	13.00	0.20	1.26					12.51	12.0	0.38		1	0.73
	2680-3		0.29	1.31			12.0							
	2680-3	21.00	0.38	1.26					20.24	20.0	0.24	1		0.73
	2680-4		0.38	1.31			19.3							
	計	60.30						56.7	58.09	52.0	5.96	1	1	

本管 プレーンエンド直管 5.96 ÷ 4.00 m/本 = 2 本
 ゴム輪受け口片受直管 52.0 ÷ 4.00 m/本 = 13 本

土工	掘削	発生土埋戻				砂埋戻	残土	
		発生土		埋戻				
		発生土	埋戻	発生土	埋戻			
	掘削	人力掘削工	人力	m ³	合計			
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³				
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m ³	56.7		22.8	
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m ³	56.7			
	埋戻	$V = 56.7 - (0.416 \times 0.64 + 0.20 \times 0.84) \times 60.30 = 30.5$				平均掘削深 1.29		
		砂埋戻	$V = \{ (0.316 \times 0.65) \times 0.785 \times 0.216^2 \} \times 58.09 = 9.8$				砂埋戻	上幅 0.68
		砂基礎工	$V = 0.61 \times 0.10 \times 58.09 = 3.5$				砂基礎工	下幅 0.62
	残土	$V = 56.7 - (30.5 \div 0.9) = 22.8$				管廻り埋戻高 = 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10		

0号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)						組	
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	1				1	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.03				0.03	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150						個	
	調整リング	600×100						個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/750 ×600						個	
	斜壁	600/750 ×450	1				1	個	
	斜壁	600/750 ×300						個	
	直壁	750×1500						個	
	直壁	750×1200						個	
	直壁	750×900						個	
	直壁	750×600						個	
	直壁	750×300						個	
	く体ブロック	750×1800						個	
	く体ブロック	750×1500						個	
	く体ブロック	750×1200						個	
	く体ブロック	750×900						個	
	く体ブロック	750×600	1				1	個	
底版		1				1	個		
施工	ブロック据付工	2.0m以下	1				1	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200						箇所	
	削孔工	φ150						箇所	
	底部工		1				1	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	

塩ビ製小型マンホール工集計表

(18)工区 補(単)

名称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3				
铸铁製防護蓋	φ 428 mm T-14	3				3	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	3				3	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	3				3	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個	
	段差調整管 φ 100 mm × 4.00 m						m	
立管							本	
	ドロップ φ 300 mm × 4.00 m						m	
	一般 φ 300 mm × 4.00 m	2.543				2.543	m	
塩ビ製小型マンホール						1	本	
	KDR φ 300 mm						個	
	DR φ 300 mm						個	
	90° Y φ 300 mm						個	
	90WY φ 300 mm						個	
	WLS φ 300 mm						個	
	45° Y φ 300 mm						個	
	90° φ 300 mm						個	
	60° φ 300 mm						個	
	45° φ 300 mm						個	
	30° φ 300 mm	1				1	個	
	15° φ 300 mm	1				1	個	
	ST φ 300 mm	1				1	個	
	KT φ 300 mm						個	
	異径ソケット φ 200 × φ 150						個	
削孔	VU 100 mm						箇所	
	VU 150 mm						箇所	
	VU 200 mm						箇所	

塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

路線名	人孔 番号	人孔 深	流出管		流入管			異径 ソケット	防護 蓋	台座	内蓋	DR用φ200		立管φ300		塩ビ製小型マンホール																				
			管種	管底高	管種	管径	管底高					調整管	90° 曲管	一般	DR用	φ - 300																				
																m	m	m	m	m	m	KT	ST	15°	30°	45°	60°	90°	45° Y	WLS	90WY	90° Y	DR	KDR		
			個	個	個	個	個					個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個								
2680	2680-1	1.334	VU	200	9.986	VU	200	10.120						0.929				1																		
2680	2680-2	1.227	VU	200	10.373	VU	200	10.393						0.822				1																		
2680	2680-3	1.197	VU	200	10.523	VU	200	10.523						0.792				1																		
計						削孔	VU100	200×150			3	3	3	2.543			1	1	1																	

取 付 管 工 集 計 表

(18) 工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No.1	No.2						
取 付 管 工	取付管箇所	5					5	箇所	
	取付管延長	17.20					17.20	m	
	平均取付管延長						3.44	m	
	プレーンエンド直管 φ150×4.00m	15.35					15.35	m	
							4	本	
	90° 可とう支管 φ150	4					4	個	
	60° 曲管 φ150 mm	4					4	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	4					4	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150	1					1	個	
	自在管 φ150	5					5	個	
	本管接続	4					4	箇所	
	マンホール接続	1					1	箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土 工	人力掘削							m ³	
	機械掘削 BH 0.28 m ³	8.4					8.4	m ³	
	発生土埋戻し 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	6.2					6.2	m ³	
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	1.9					1.9	m ³	
	残土処分 BH 0.28 m ³ 4t車	1.5					1.5	m ³	
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	5					5	箇所	
	鋳鉄製防護蓋 φ 200 mm用	2					2	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	3					3	箇所	

取付管工

(18) 工区 補 単

(現況舗装構成)

舗装表層 = 0.05
 上層路盤 = 0.10 m
 下層路盤 = m

道路幅員 = ~ m
 本管掘削幅 = m
 取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 0.05 m
 上層路盤厚 = 0.10 m
 下層路盤厚 = 0.10 m

φ 150 mm

路線名	数量	取付管延長		本管土被	a 掘削深	b 掘削幅	c 掘削延長	a×b×c 掘削土量	本管 接続	人孔 接続	塩ビ 人孔 接続	塩ビ 人孔用 支管	可とう 支管	曲 管	P E 直 管	S R B	樹 設置 工	鑄 鉄 製 防 護 蓋	塩 ビ 製 密 閉 蓋		
		箇所	箇所×延長																	小計	m
2680	右 左	1 1	2× 3.20	6.40	1.02	0.91 0.86	0.64	6.40- (0.37 ×2)=	5.66	3.1	2			2	2	5.66	2	2	1	1	
2680	右 左	2 1	3× 3.60	10.80	1.01	0.91 0.86	0.64	10.80- (0.37 ×3)=	9.69	5.3	2	1		2	2	9.69	2	3	1	2	
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
	右 左																				
計	右 左	3 2		17.20					15.35	8.4	箇所 4	箇所 1	箇所 ケ	ケ 4	ケ 4	15.35	ケ 4	箇所 5	箇所 2	3	
配管延長								m 17.20													m 15.35
掘削		人力						m ³	発生土埋戻												m ³ 6.2
掘削		BH0.28m ³						m ³ 8.4	砂・砂基礎埋戻												m ³ 1.9
残土								m ³ 1.5	自在管φ150												個 5

付 帯 工 集 計 表

(18) 工区 補・①

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
アスファルト切断工	t=15cmまで	120.6					120.6	m	
舗装撤去工		177.2					177.2	m ²	
舗装殻処分工		0.0					0.0	m ³	
仮舗装工	As t=3cm	51.6					51.6	m ²	
仮舗装撤去		51.6					51.6	m ²	
仮舗装殻処分工		1.5					1.5	m ³	
本舗装復旧工(全面幅)	密粒度As t=5cm	177.2					177.2	m ²	
上層路盤工	粒調碎石 t=12cm	51.6					51.6	m ²	
下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm	51.6					51.6	m ²	
不陸整正		125.7					125.7	m ²	

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(18)工区 補(単)

現況表層厚 = m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = m
 現況路盤厚 = m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2680	2681-3 2680-1	3.30	1.34	3.30×2=	6.60	0.87×3.30=	2.87	2.80×3.30=	9.2
	2680-1 2680-2	23.00	1.32	23.00×2=	46.00	0.86×23.00=	19.78	2.80×23.00=	64.4
	2680-2 2680-3	13.00	1.26	13.00×2=	26.00	0.85×13.00=	11.05	2.80×13.00=	36.4
	2680-3 2680-4	21.00	1.26	21.00×2=	42.00	0.85×21.00=	17.85	3.20×21.00=	67.2
	計	60.30			120.60		51.55		177.2

アスファルト切断工	120.60 m
舗装撤去工	177.2 m ²
舗装殻処分工 t= cm= 177.24 × =	m ³
仮舗装工	51.55 m ²
仮舗装撤去	51.55 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm= 51.55 × 0.03 =	1.5 m ³
舗装復旧工	177.2 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	51.6 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	51.6 m ²
不陸修正	177.2 - 51.55 = 125.7 m ²

取付管布設付帯工集計表

(18)工区 補・(単)

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		As	Co					
付 帯 工	舗装切断工(As) t≤20cm	21.40				21.40	m	
	舗装切断工(Co) t≤20cm						m	
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)	7.71				7.71	m ²	
	〃 t=10cm以下(仮舗)	7.71				7.71	m ²	
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)						m ²	
	殻運搬処理(As) (現況)	0.2				0.20	m ³	
	〃 (仮舗)	0.2				0.20	m ³	
	殻運搬処理(Co) (現況)						m ³	
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m ²	
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm	7.71				7.71	m ²	
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm						m ²	
	下層路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 10 cm	7.71				7.71	m ²	
	上層路盤工(車道) 粒調砕石 t= 12 cm	7.71				7.71	m ²	
	路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 14 cm						m ²	

取付管布設付帯工

(18工区 補単)

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
						t= 5 cm	m	t= 20 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2680		3.20	0.60	0.86	2	(3.20-1.30)×2×2=	7.60	0.72×2×(3.20-1.30)=	2.74		
2680		3.60	0.60	0.86	3	(3.60-1.30)×3×2=	13.80	0.72×3×(3.60-1.30)=	4.97		
計							21.40		7.71		

(アスファルト)											
アスファルト切断						15 cm	21.40 m				
上層路盤工						12 cm	粒調碎石		7.7 m ²		
下層路盤工						10 cm	再生切込碎石		7.7 m ²		
仮舗装工						3 cm	7.7 m ²				
仮舗装撤去							7.7 m ²				
仮舗装処分						工 t= 3 cm=	7.71	×	0.03	=	0.2 m ³



令和2年度 公共下水道事業		
工事名	三原東処理分区 污水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市中之町二丁目	
図面番号	縮尺	1/10,000
位置図		
三原市		